

# '98 / 年報

平成 10 年度

No. 6

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



## はじめに

わたしどもの資料館は今年で6年目を迎えることができました。周辺における「まほろば古の里歴史公園」の整備がほぼ完了し、体験学習の場である「創造の館」も完成し活動を開始しました。人びとのいこいと自然にふれあう場として、休日などには多くの訪れる老若男女でにぎわっております。中核施設としてのわが館も今年度の入館者は一万人をはるかに越え、昨年度より倍増いたしました。まさに歴史公園による相乗効果というべきでしょうか。

この新たな局面に、原始・古代と現代をむすび、21世紀にむけての展望を確かなものにし、自然と共生する活力ある文明社会をきずくために、小さいながらわが館の果たすべき役割は益々重要であります。地域との連携と協力態勢をいっそう密にして、マンネリズムに陥らないよう絶えず創造的精神にたちかえり、さわやかできれいな施設にしていく所存であります。

一年間のあゆみを以下に総括いたしました。ご一読の上ご指導・ご鞭撻賜らば幸いに存じます。

1999年3月

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

館長 川崎利夫

# 目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	3
3. 展示の概要	
(1)常設展示及びテーマ展示	6
(2)第7回企画展	7
4. 教育普及活動	
(1)特別公開講演会	8
(2)体験教室	8
(3)遺跡めぐり	9
(4)うきたむ縄文まつり	10
(5)考古学入門講座	11
(6)その他の教育普及事業	11
(7)うきたむ考古の会の事業	11
5. 資料の活用	13
・館内利用の状況	
・印刷物等掲載の状況	
・資料貸出の状況	
・刊行物一覧	
6. 入館状況	
(1)月別入館者一覧表	14
(2)主な入館団体一覧	15
(3)来観者アンケート	16
7. 管理及び運営	
(1)組織・職員	17
(2)運営協議会	18
8. まほろば古の里歴史公園整備事業	19
9. 受贈資料・図書・書籍	21
10. 日誌抄	26
11. 利用案内	27
・入館減免申請書	28

# 1. 施設概要

## (1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

## (2) 沿革

昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和58年度	風土記の丘基本計画懇談会において、基本計画等について検討
昭和59年度	風土記の丘建設構想推進委員会において、中核地区の選定等について検討
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
昭和62～63年度	中核施設となる考古資料館の展示構想をたてるため、考古資料基礎調査を実施
平成元年度	風土記の丘基本計画作成検討委員会を設置し、基本計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

## (3) 施設

### ①構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建 敷地面積：7,000㎡ 延床面積：1,358.24㎡.

常設展示室	279.00㎡	作業室	33.75㎡
企画展示室	129.37㎡	荷解室	18.00㎡
収蔵庫(2層)	129.37㎡	ロビー・ホール	336.85㎡
研修室	67.50㎡	ビデオコーナー	33.25㎡
資料室	58.20㎡	風除室	19.25㎡
事務室	67.50㎡	その他(機械室等)	186.20㎡

#### (4) 建設費

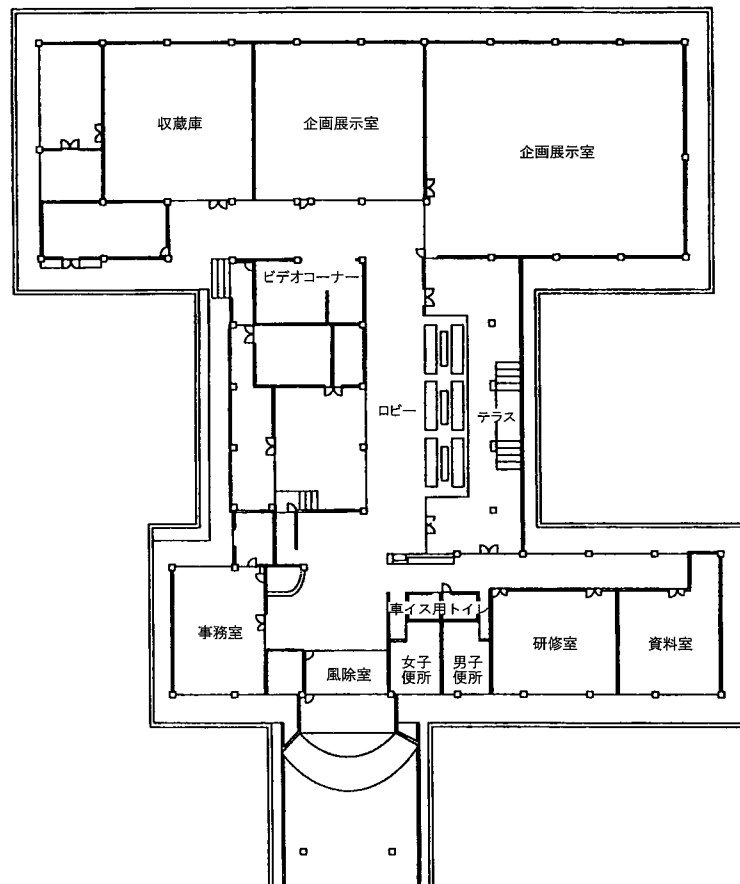
総額 618 百万円

(内訳) 建物本体工事費	413 百万円
展示工事費	118 //
外構整備費	38 //
備品購入費	9 //
調査、設計監理委託料	37 //
事務費	3 //

#### (5) 工事業者

建築設計	株式会社平吹武建築設計事務所
建築施工	株式会社中村建設
設備施工	協栄設備工業株式会社
電気施工	千代田電工株式会社
植栽施工	今井造園株式会社
展示設計施工	株式会社丹青社

[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]



## 2. 開館後のあゆみ

平成5年度 開館記念行事（4月20日）  
開館記念講演「考古資料館に期待すること」（4月20日）  
文化庁文化財監査官 田中 琢氏  
第1回特別展「縄文の四季」（4月23日～8月22日）  
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」開催（7月10日）  
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」（9月1日～26日）  
縄文土器づくり教室（9月12日・10月3日）  
縄文月見の宴（9月30日）  
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」（10月1日～11月30日）  
特別講演会「末期古墳がつくられたころ」  
福島大学教授 工藤 雅樹氏（10月9日）  
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」（12月7日～4月26日）  
平成5年度入館者 15,379名

平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」（5月1日～7月30日）  
縄文土器づくり教室（7月3日・7月31日）  
特別講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」  
秋田県埋蔵文化財センター所長 富樫 泰時氏  
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」（8月4日～9月25日）  
第1期やさしい考古学入門講座  
1回「考古学とは」 県立考古資料館長 川崎 利夫氏  
2回「旧石器時代と生活」 財県埋文センター研究課長 佐々木洋治氏  
3回「縄文時代の人々と文化」 日本考古学協会会員 佐藤 鎮雄氏  
4回「縄文時代のムラと生活」 財県埋文センター研究調査員 佐藤 庄一氏  
5回 体験実習（縄文琴の作り）米沢市教育委員会 手塚 孝氏  
6回「弥生時代の生活と社会」 財県埋文センター研究調査員 佐藤 庄一氏  
7回「古墳とその時代」 県立考古資料館長 川崎 利夫氏  
8回 体験学習（秋の縄文料理）米沢市教育委員会 手塚 孝氏  
9回「考古学が語る蝦夷の時代」 日本考古学協会会員 佐藤 鎮雄氏  
10回「一つの経筒から中世が広がって見える」  
高畠町郷土資料館長 山崎 正氏

縄文月見の宴（9月20日）  
第3回企画展「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」  
（10月1日～11月30日）  
特別講演会「中尊寺金色堂の視線」（10月15日）  
東北大学教授 入間田 宣夫氏  
第4回収蔵品展「古代の村と暮らし」（12月6日～4月23日）  
縄文手作り教室（勾玉・けつ状耳飾り）（3月11日）  
平成6年度入館者 7,696名

平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」（4月27日～7月30日）

特別講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」(6月10日)

青森県教育庁文化課三内丸山対策室 岡田 康博氏

縄文住居作り教室(住居・勾玉・投げやり)(6月18日)

土器作り教室(7月8日・8月6日)

第5回収蔵品展「高阜の古墳時代」(8月4日～9月27日)

第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」

- |                 |                  |        |
|-----------------|------------------|--------|
| 1回「日本のやきものの流れ」  | 県立考古資料館長         | 川崎 利夫氏 |
| 2回「縄文草創期・早期」    | (財)県埋文センター研究課長   | 佐々木洋治氏 |
| 3回「縄文前期・中期」     | (財)県埋文センター研究調査員  | 阿部 明彦氏 |
| 4回「縄文後期・晩期」     | 日本考古学協会会員        | 佐藤 鎮雄氏 |
| 5回「弥生土器」        | (財)県埋文センター第二調査課長 | 佐藤 庄一氏 |
| 6回 実習(味噌根窯跡の発掘) | 米沢市教文化財主任        | 手塚 孝氏  |
| 7回「古墳時代の土器」     | 県文化財課文化財係長       | 長橋 至氏  |
| 8回「古代の土器」       | (財)県埋文センター研究調査員  | 尾形 與典氏 |
| 9回「中世の焼き物」      | 県立考古資料館長         | 川崎 利夫氏 |
| 10回「近世山形のやきもの」  | 山形民芸協会理事長        | 板垣 英夫氏 |

うきたむ考古の会設立(9月2日)39名

縄文月見の宴(共催)会場 山形市霞城公園(9月9日)

第4回企画展「やまがた古代の役所」(10月1日～11月30日)

味噌根窯跡の発掘調査(10月22日～12月上旬)

特別講演会「古代出羽の役所」

酒田市教育委員会生涯学習課長 小野 忍氏

東北中世考古学会 設立総会(11月25日)

第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」(12月6日～4月21日)

縄文住居の模型作り教室(2月25日)

平成7年度入館者 7,957名

平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」(4月27日～7月31日)

風土記の丘写生大会(5月4・5日)

春の遺跡巡り(川西町方面)(5月12日)

青森山内丸山遺跡見学研修旅行(考古の会)(6月1～2日)

特別講演会「古代の窯業遺跡」(6月8日)

国立歴史民俗博物館教授 吉岡 康鴨氏

縄文土面・土笛作り教室(6月16日・7月21日)

第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」

- |                   |                  |        |
|-------------------|------------------|--------|
| 1回「旧石器時代の遺跡を掘る」   | 県文化財課文化財主査       | 渋谷 孝雄氏 |
| 2回「縄文草創期の洞窟遺跡を掘る」 | (財)県埋文センター研究課長   | 佐々木洋治氏 |
| 3回「縄文時代の集落を掘る」    | (財)県埋文センター研究調査員  | 阿部 明彦氏 |
| 4回「弥生時代の遺跡を掘る」    | (財)県埋文センター第二調査課長 | 佐藤 庄一氏 |
| 5回実習 遺跡発掘現場(米沢)   | 米沢市教文化財主任        | 手塚 孝氏  |
| 6回「古墳を掘る1」        | 高阜町文化財係長         | 井田 秀和氏 |
| 7回「古墳を掘る2」        | 県文化財課文化財係長       | 長橋 至氏  |
| 8回「古代の窯跡を掘る」      | 県文化財課文化財主査       | 名和 達朗氏 |





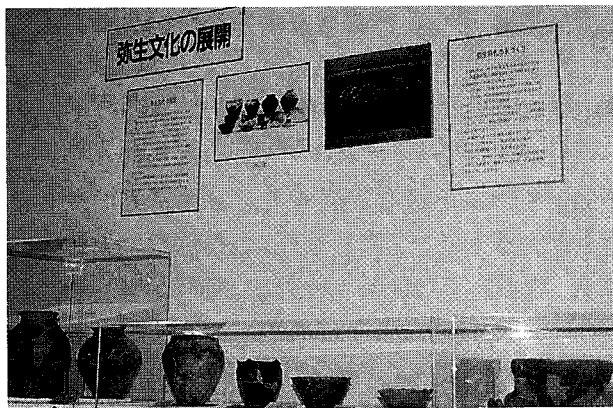
## (2) 第7回企画展

- ・テーマ 「やまがたの弥生文化 -水田稲作の始まり-」
- ・期間 10月1日～11月29日

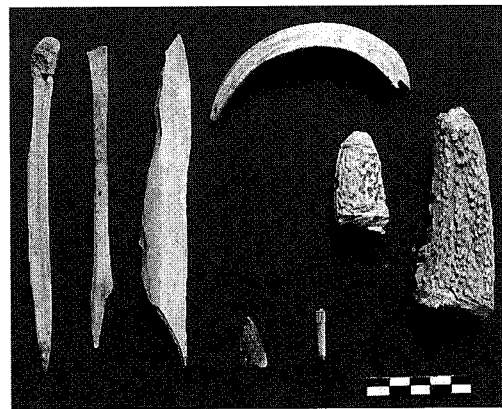
紀元前3世紀から紀元3世紀の数百年にわたる弥生時代は、水田稲作の開始と金属器の使用などによって、日本の歴史上大きな変革の時代であった。この時代についての様相は、県内においてまだ集落跡の発掘や水田跡の発見もなく、不明な点が多かった。西日本のような目をみはる華やかな遺跡・遺物がとぼしい。しかしそれが東北の弥生文化の特異性であるととらえ、県内はじめての展示を行うことにした。

さいわい多くの機関や個人から、資料の提供をえて県内の弥生文化のあらましを網羅することができた。小テーマとして「縄文から弥生へ」「弥生文化の展開」「古墳時代へ」の三部で構成した。「縄文から弥生へ」では、縄文晩期後半の東根市蟹沢、米沢市杓代、河北町花の木などの土器・石器を展示した。中心となる「弥生文化の展開」では、遠賀川系の土器や砂沢式を出土した酒田市生石遺跡（県埋蔵文化財センター）、河北町花の木（河北町教育委員会）、山形市筏山・七浦甕棺（明円寺尚古館）、米沢市堂森（手塚孝氏）、高畠町観音岩・神立沢（本館）、庄内各地（致道博物館）の遺物に加え南陽市萩生田の石包丁（鈴木長良氏）などを展示した。「弥生から古墳へ」では、山形市今塚の古墳時代前期の土師器（県埋蔵文化財センター）を中心に構成した。

これを機会に図録「やまがたの弥生文化」を発刊し、また10月4日東北大学教授の須藤隆氏を講師とする講演会を催した。なお、この間の入館者は約3000名であり、大きな成果をあげて無事に閉じることができた。



企画展展示状況



高畠町観音岩の骨角製品など

## 4. 教育普及活動

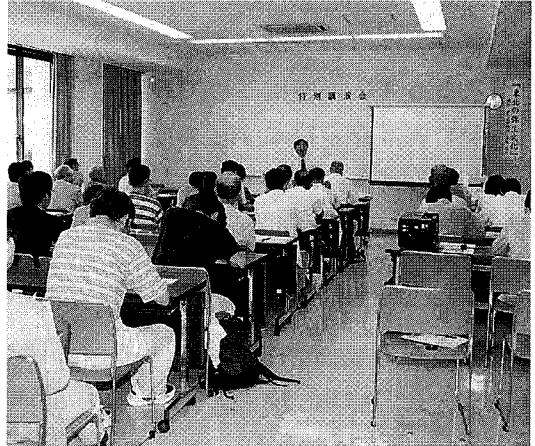
### (1) 特別公開講演会

10月4日(日) 「東北の弥生文化—その成立と展開—」 受講者 47名

講師 東北大学教授 須藤 隆氏

第7回企画展「やまがたの弥生文化」の特別講演会として開催した。弥生文化の基本的構造の解説及び、東北地方における弥生文化研究の流れという背景から、東北における代表的な遺跡とその地域性等について述べられた。

なお、考古の会の会誌である『うきたむ考古第4号』に講演録を掲載する。



### (2) 体験教室

#### ① 縄文の土偶づくり教室

1回目 5月9日(土) 形づくり

2回目 5月23日(土) 野焼き

参加者 12名 講師 当館 宇佐美 みふゆ

昨年度の作り方に習って、粘土を調整する事から始めた。土偶は、形づくりも野焼きも、土器よりも難しいようである。作るときの湿度によっても、粘土の水分が変化し、適度に調整しないと出来ない。

その後、竹ひごで、骨組みを作り、中空土偶の場合は柔らかい紙で膨らみをつけてから板状の場合はそのまま粘土で形を作って1日目が終わる。

野焼きは、軽く地面に穴を掘り、数十分焼いて出来上がる。焼き上がって早めに洗うと色みがきれいにできるので、各自大事に洗い上げ完成した。

#### ② 土器づくり教室

1回目 6月14日(日) 土器づくり

2回目 7月5日(日) 野焼き

参加者 23名 講師 陶芸家 水野 哲氏

今回で6回目になった。1日目は施文具をつくり土器を成形し、2日目は野焼きである。慎重に焼いたためか、破損するものもなかった。暑い日で、野焼きはきつかったかと思うが、恒例の縄文料理を楽しみそれぞれ土器を持ち帰った。

### ③縄文の住居づくり

8月2日(日) 参加者 10名 講師 当館 島津 美智雄

雨のため、急きょ釣り針つくりに変更した。鹿の角を使用し、水に浸し柔らかくしながら削り、釣り針の形に仕上げた。途中、削る道具として石器も使用した。

### ④縄文の祭り具づくり

8月8日(土) 参加者 6名 講師 当館 宇佐美 みふゆ

始めに、展示室にて、出土した道具類を見学学習した。その後、実習として、簡単な衣服を縫う、模様を描く、土の笛や、鈴、髪飾り、勾玉を作った。その後、作った衣装などを身につけて、復元竪穴住居の前で写真撮影をした。



### ⑤勾玉づくり

11月14日(土) 参加者 13名

講師 当館 宇佐美 みふゆ

展示室での学習では、実物に触れる機会として、手に取り観察を行った。その後、柔らかい石を使ってそれぞれの形の勾玉を作った。

### ⑥編み布づくり

2月21日(日) 参加者 6名 講師 当館 宇佐美 みふゆ

編み布教室としては3回目になる。冬季であり、参加者も少ないが、これを機会に自分でも編みたいという人が多い。そのような人が今後どのような作品を展開してくれるのか楽しみである。再び資料館の事業に協力してくれることを期待したい。

## (3) 遺跡めぐり

### ①春の遺跡めぐり

5月17日(日) 参加者 20名 講師 日本石仏協会理事 加藤 和徳氏  
当館長 川崎 利夫氏

当日は天候に恵まれ、初夏の強い日差しの中での史跡巡りとなった。今回は、上山市内。上山城、土矢倉古墳群、牧野郷散策(板碑・六面幢)、楢下宿(新橋・滝沢屋脇本陣・庄内屋)ニッポン古屋敷村(真壁仁記念館等)を見学学習した。

### ③秋の遺跡めぐり

10月18日(日) 参加者 17名

講師 山形県地域史研究協議会常任理事 井上 俊雄氏  
小国町教育委員会生涯学習係 松山 茂氏  
当館長 川崎 利夫氏

今回のエリアは飯豊・小国町内。午前中は飯豊町、午後は小国町の史跡を巡った。当日は、台風が心配されたが、遠く宮城県からの参加者も交えて、講師の興味深い話の中、1日駆け足の学習となった。見学地は天養寺観音堂、萩生城、恩徳寺、源流の森展示室、上屋地遺跡、小国民俗資料館、大宮子易両神社、黒沢峠歴史の道。

#### (4) うきたむ縄文まつり

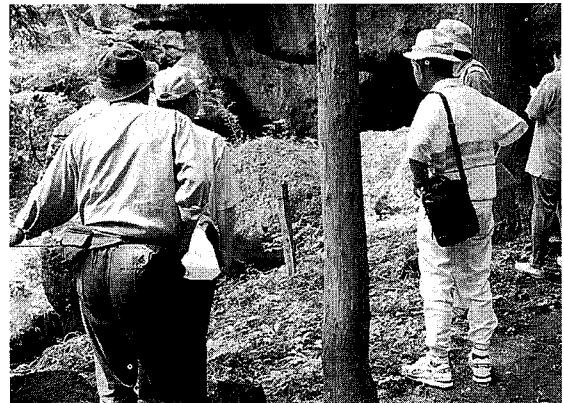
9月6日(日) 参加者 一般73名、スタッフ・招待者等38名

出演 長井市縄文太鼓 協力 うきたむ考古の会役員・歴史公園管理組合

例年、試行錯誤を繰り返している縄文まつりであるが、今年は時期を早めて開催した。なお、例年夏休みに行っている洞窟遺跡の見学を午前中に行ない、うきたむ考古の会の役員の方々にも各体験コーナーのスタッフを依頼し、多彩なメニューを盛り込んだ1日となった。最後は、満月の下でスライドと語らい、縄文太鼓の演奏を楽しんだ。

午前から8時まで以下のような日程で行った。

- ・うきたむ洞窟探検 9:00~12:00 12名  
日向洞窟・大立洞窟・一の沢洞窟・火箱岩洞窟
- ・縄文体験コーナー 14:00~17:00
  - 料理作り
  - 服作り
  - 勾玉作り
  - 投げやり作り
- ・縄文料理の試食会
- ・月見の宴
  - 縄文太鼓の演奏
  - 野外講座 (スライドと語らい)



うきたむ洞窟探検



縄文祭りー試食会



縄文祭りー月見の宴

## (5) 考古学入門講座

第5期やさしい考古学入門講座 ～中世の考古学～

6月21日(日)～8月23日(日) 参加者 延べ176名

今期は全期5回に短縮して開講し、又、興味ある講座のみの受講もしやすくした。今年、考古学としては新しい分野である中世を取り上げ、各講師より、それぞれの視点より講義して頂いた。主な講義内容は以下の通りである。

- 第1回 奥羽の中世世界 山形大学助教授 伊藤 清郎 講師  
奥羽の中世社会という大枠の中で、出羽の兵、荘園、動乱と民衆についてを核に、古文書も紐解きながら、当時の背景について講義された。
- 第2回 東北の中世土器・陶磁器 福島県文化課文化財主査 飯村 均 講師  
事前に視察された、山形市での発掘中の遺跡の出土陶磁器の具体例をあげながら、中世の焼き物の種類分類と、その出土遺物から類推できることについてなど、講義された。
- 第3回 中世の墓と経塚 天童中部小学校教諭 山口 博之 講師  
中世の墓に的を絞り、文献や物語り、そして発掘された墓の様子から、中世の人々の死及び、死体の捉え方、などについてスライドも併用しながら講義された。
- 第4回 中世の石造文化財、その見方・調べ方 館長 川崎 利夫 講師  
石造文化財とは何か、その種類から、見方、実測の方法まで、そして、県内の板碑の形態と分布についてスライドを交えて講義された。
- 第5回 山形県の城館跡 岩手県立大学助教授 誉田 慶信 講師  
城と呼ばれるもの、その中世の城の基本知識・城館跡の歩き方と、城をとりまく社会・人々の具体的なあり方について講義された。

## (6) その他の教育普及事業

①風土記の丘写生大会 5月5日(日) 参加者 16名

5月18日に表彰式を行った。その後、6月20日まで館内に全作品を展示した。

## (7) 「うきたむ考古の会」の事業

「うきたむ考古の会」は、平成7年9月に発会した自主的な会である。やさしくわかる考古学の普及と創造を目指し、考古学を学ぶ生涯学習の場として相互の交流を深めることを目的としている。事務局は当館に置かれている。年1度の会誌の発行を軸に、会員の意志を尊重しながら、様々な試みをする場である。

・～みる・きく・ふれる遺跡の旅3～「文明のクロスロード会津盆地を訪ねる」

6月27日(土)～28日(日) 参加者 22名

会員及び一般の参加者を募り、小型バスにて遺跡・史跡の見学学習を中心に、1泊2日

の旅を行った。

・会誌「うきたむ考古第3号」発行 6月5日(木) A5判 総頁60頁 発行300部  
会員による寄稿の他、前年度特別講演会録(縄紋文化と現代 佐原 眞)を加え発行した。  
エッセイ的なものから論文まで、会員の様々な視点で執筆されている。

・総会 6月21日(日)

・懇親会 8月23日(日)

入門講座参加者、講師とともに懇親を兼ねて懇親会を行った。



遺跡の旅3－慧日寺跡



遺跡の旅3－亀ヶ森古墳

## 5. 資料の活用

### ①館内利用の状況

資料名	遺跡名	利用理由	利用方法	期間	利用者
炭化食品 (縄文クッキー)	押出遺跡	展示	複製製作	6月3日～ 6月5日	東北歴史資料館
彩漆土器 (重文番号1)	押出遺跡	展示	複製製作	12月15日～ 12月17日	崇教真光記念館 建設委員会

### ②印刷物等掲載の状況 (写真利用)

資料名	遺跡名	印刷物等の名称	発行者	発行期日	部数
炭化食品 (縄文クッキー)	押出遺跡	社会科資料集	(株)光文書院	11年3月1日	200,000部
炭化食品 石皿	押出遺跡	むし歯の歴史	砂書房	10年11月予定	
彩漆土器 12 彩漆土器残欠	押出遺跡	家庭画報 11月号	世界文化社 家庭画報	10年10月1日	308,000部
彩漆土器深鉢 炭化食品等 9点	押出遺跡	パパ縄文遺跡へ 行こう	(株)小池書院	11年1月予定	6,000部
彩漆土器	押出遺跡	縄文時代の交流 と交易	(株)小学館	11年1月20日	2,000部
炭化食品 石皿	押出遺跡	21世紀子ども歴史館	(株)小学館	11年6月予定	
彩漆土器	押出遺跡	小6チャレンジ 4月号付録	(株)ベネッセ コーポレーション	11年4月1日	200,000部

### ③資料貸出の状況 (写真利用)

資料名	遺跡名	利用の理由	申請者	借用期日	備考
炭化食品 (縄文クッキー)	押出遺跡	日本人の原風景 遺跡にみる暮らしと文化	(有)和銅社	10年12月20日 ～11年3月30日	ビデオソフト 500部
炭化食品 遺跡発掘状況	押出遺跡	テレビ朝日 紺野美佐子の科学館	(株)アマゾン	10年11月9日 ～10年11月13日	テレビ番組
彩漆土器	押出遺跡	展示	東京都埋蔵 文化財センター	11年1月16日 ～11年1月30日	展示パネル

#### ・刊行物一覧

平成10年4月1日から平成11年3月31日までの刊行状況は、下記のとおりである。

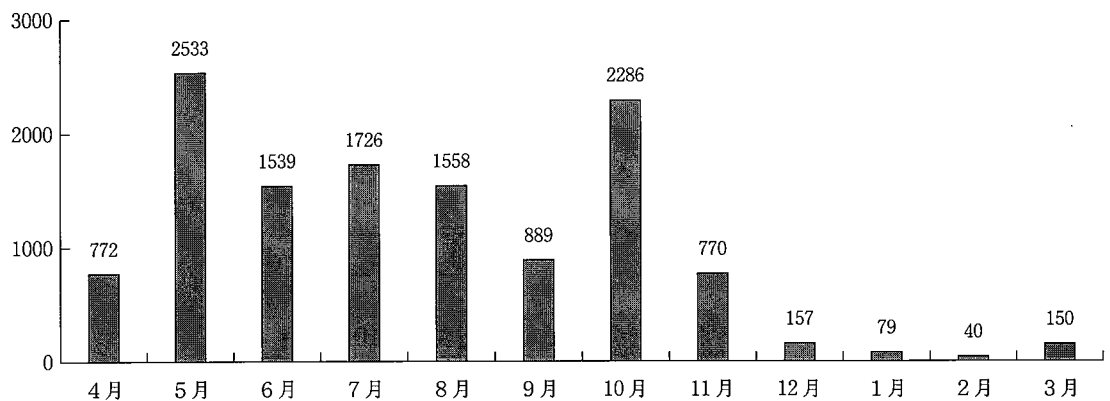
書名	発行日
館報 うきたむ 11号	平成10年5月12日
第7回企画展図録 やまがたの弥生文化	平成10年10月1日
館報 うきたむ 12号	平成10年11月3日

## 6. 入館状況

(1) 平成10年度 月別入館者一覧表

(人)

月分	有料入館者数 (人)					無料入館者数 (人)					合計
	個人		団体		計	減免者数		視察その他		計	
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	一般	児童等		
4	450	105	63	0	618	76	65	13	0	154	772
5	859	226	239	0	1,324	585	588	17	19	1,209	2,533
6	506	35	180	168	889	234	335	68	13	650	1,539
7	445	90	125	394	1,054	357	241	73	1	672	1,726
8	899	375	94	10	1,378	8	108	60	4	180	1,558
9	369	57	171	0	597	98	161	30	3	292	889
10	557	36	422	2	1,017	426	794	49	0	1,269	2,286
11	323	50	109	0	482	147	98	31	12	288	770
12	87	15	40	0	142	11	0	4	0	15	157
11.1	31	7	4	36	78	0	0	1	0	1	79
2	28	10	0	0	38	0	2	0	0	2	40
3	101	25	0	0	126	9	7	8	0	24	150
計	4,655	1,031	1,447	610	7,743	1,951	2,399	354	52	4,756	12,499



## (2) 主な入館団体一覧

月日	団 体 名	人数	月日	団 体 名	人数
4.23	山形交通交友会	43	7.21	米沢市ベテランズカレッジ	36
5.1	高島町立二井宿小学校	16	7.23	東京都墨田区言問小学校	46
5.1	高島町立亀岡小学校	54	7.26	米沢市三沢公民館	28
5.4	藤島町歴史サークル	14	7.30	中山町福祉課	32
5.7	南陽市小学校6学年部会	16	8.1	米沢市立南原中学校	57
5.10	福島盆地を歩く会	20	8.4	南陽市立赤湯中学校	31
5.13	山形県立高島高等学校	37	8.28	遊佐町教育委員会	8
5.13	山形市立高楯中学校	114	9.3	寒河江市教育委員会	9
5.14	山形県立高島高等学校	36	9.3	土地連庄内支部	30
5.14	上山市宮川中学校	42	9.18	東北博物館協議会	65
5.14	長井市保健所	20	9.22	日大山形中学校	95
5.15	南陽市立中川小学校	29	9.22	山形市立山寺小学校	35
5.19	長崎県平戸市議会	8	9.30	オーストラリアシングルトン交流事業	17
5.19	高島町立和田小学校	48	9.30	仙台市六郷市民センター	47
5.19	小国町教育委員会	11	10.1	飯豊町立添川小学校	16
5.20	宮城県多賀城市区長会	40	10.1	南陽市立中川小学校	30
5.29	高島町発掘調査団研修	36	10.3	高島町立和田小学校	82
5.31	南陽市立荻小学校	34	10.3	仙台市岩切市民センター	94
5.31	天道市長岡団地婦人会	64	10.4	山形市南部郷土史会	21
6.2	高島町立第一中学校	21	10.6	山形県立米沢工業高等学校	164
6.4	仙台市立中野小学校	48	10.7	山形県立米沢工業高等学校	163
6.6	上山市立南小学校	225	10.7	山形市西部郷土史研究会	24
6.11	仙台市立沖野小学校	112	10.11	駅長と歩く小さな旅	31
6.12	米沢市立東部小学校	132	10.14	山形県町村会	26
6.12	県庁文化振興課国際室(コロラド)	7	10.15	屋代地区アベマキ大学	39
6.16	高島町商工観光課(中国研修生)	40	10.17	山形県立山形西高等学校	289
6.17	高島町小学校6学年部会	12	10.22	中山町芸術文化協会	27
6.19	高島町企画課(広報投稿者の集い)	27	10.24	高島町立亀岡小学校	40
6.19	上山短歌会	20	10.24	南陽市立荻小学校	33
6.24	置賜保育協議会(給食担当研修会)	27	10.24	東北中世考古学研究会	20
6.24	福島県磐梯町文化財調査委員会	6	10.25	山形ふれあい家族遠足	48
6.26	置賜5町議会事務局研修会	17	10.25	飯豊少年自然の家	99
6.26	大江町近江食改	10	10.27	長井市中央公民館	21
7.1	国道113号推進協議会	45	10.29	亀岡地区文殊大学	67
7.4	高島町立高島小学校	158	11.5	山形県立米沢女子短期大学	72
7.5	米沢市立北部小学校	140	11.6	米沢市老人クラブ連合会	24
7.15	宮城県立第一女子高等学校	354	11.6	山形県人事委員会	6
7.16	屋代地区北部ブロック協議会	18	11.10	北海道伊達市教育委員会	16
7.17	岩手県花巻市教育委員会	7	11.12	高島町小中学校長連合会	13
7.21	川西町高齢者大学	40	11.28	福島県いわき市教育事業団	21

### (3) 来館者アンケート

このアンケートは、平成10年度のアンケート等を回収して、その結果をまとめたものがあります。

#### (1) アンケート用紙に記入された意見等

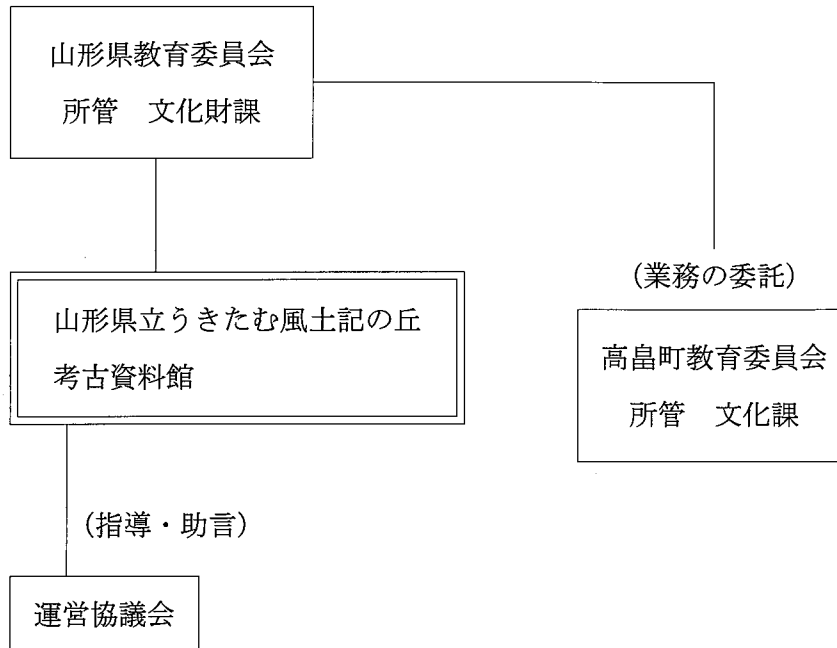
- ◎ 山形県にも遺跡の跡があったことを学びました。気候が厳しいのに。(20代 女性)
- ◎ 体験学習施設を常設しては、いかがでしょうか。見るだけでなく実際に触れて感じることのできる物があれば良いと考えます。器の復元コーナー等(40代 男性)
- ◎ 本物の文化に触れることができました。公園の住居にも実際に子供が入ることができ喜んでいました。昔風の衣服を着て写真などをとれるコーナーがあると楽しいですね。体験コーナーがあるとうれしいです。(40代 女性)
- ◎ 昔の家を見るだけでなく、実際に入れたのにはとても感動した。学校で学んだ物が見れたり、それ以外にもいろいろな物があるのが分かった。実際に火をおこしているところが見たいです。(中学生 女性)
- ◎ 太古の昔にタイムスリップして、大変興味深く拝見しました。よく調べて並べられていました。(40代 女性)
- ◎ 彩漆土器の実物が無いので残念でした。周辺の遺跡の場所を詳細にプロットしたパンフレットがあると現地見学の際に役立つと思います。少しでもいいので律令時代の展示もあるとよかったです。(20代 男性)
- ◎ 良くまとめられ、説明されており良かった。(40代 男性)
- ◎ 石器や土器掘りがしたくなりました。(40代 男性)
- ◎ 埋蔵文化財の重要性について考えさせられた。ビデオが分かりやすくコンパクトにまとめられていたので良かったと思う。(20代 学生)
- ◎ こんなに土器などの破片の形がのこったなんてすごいと思った。(小学生 男性)

#### (2) 考古資料館の体験学習等に参加された意見等

- ◎ 来年の春の遺跡めぐりにもお誘いください。極力参加させていただきたいと思いますので。(遺跡めぐり 60代 女性)
- ◎ 旧跡巡りをすると心が洗われたような気がします。欲を言えばもう少し、遺跡を見学に入れてください。また、参加させてくださいね。(遺跡めぐり 50代 男性)
- ◎ なかなか大変でした。もう少し時間があれば良かったです。(匂玉づくり教室 50代 女性)
- ◎ 丸く作る所が大変だったけど、楽しかった。(匂玉づくり教室 小学生 女性)
- ◎ 子供が前回参加して作った作品をみて、ぜひ私も参加したいと思い参加しました。(土器づくり教室 30代 女性)
- ◎ 今年度の入門講座は、中世についてでしたが、他の時期(旧石器、縄文など)の講座も開設していただきたい。(入門講座 50代 男性)
- ◎ 個人的な趣味で参加させていただきましたが、今まで漠然と考えていたようなことが現実の話(中世での生活とか)として、目の前に浮かんでくるようでおもしろかったです。(入門講座 20代 女性)
- ◎ 興味をひく講演・講座が多く時々参加させていただいています。今後もさまざまな歴史分野の催し物の開催を希望します。(講演会 20代 女性)
- ◎ 今後も企画展に伴うような、講演会、展示物の説明会等の機会をより一層増やしていてもらいたいと思います。(講演会 20代 男性)
- ◎ 毎年スケジュール表を見て、ワクワクするのですが日程が折り合わず残念です。(遺跡めぐり 30代 女性)

## 7. 管理及び運営

### (1) 組織・職員



山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員名簿

職名	氏名	住所	電話番号	備考
館長(嘱託)	川崎利夫	天童市中里2-3-12	023-655-2693	
主事	鈴木栄一	高島町大字亀岡3913	0238-52-2862	
主事	島津美智雄	高島町大字竹森4467	0238-52-0283	
嘱託	宇佐美みふゆ	高島町大字下和田674	0238-56-3070	
臨時職員	木村克彦	高島町大字高安934	0238-52-2582	4月～6月
臨時職員	鈴木綾子	南陽市宮内2739	0238-47-2422	7月～1月

(2) 運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

(五十音順)

氏名	住所	自宅電話番号	備考
安彦好重	山形市北山形1-6-8	023-644-9246	山形県文化財保護協会会長
小杉基	米沢市中央3-1-29-13	0238-23-4679	米沢市教育委員会文化課長 県博物館連絡協議会副会長
佐藤鎮雄	南陽市三間通1278	0238-40-2053	南陽市立中川中学校長 県文化財保護指導員
菅井敬一郎	南陽市宮内3652	0238-47-2660	南陽市教育委員会教育委員
浜田清明	米沢市東3-5-22	0238-23-2318	山形県文化財保護協会会員
山崎正	高島町大字高島1543-7	0238-52-1013	高島町立郷土資料館長
吉野智雄	上山市須田坂22	023-674-2946	上山市立図書館長 県文化財保護指導員

委員長 浜田 清明 副委員長 吉野 智雄

[今年度の運営協議会]

- 第1回 開催期日 8月28日 本館研修室  
会議内容 (1)平成10年度考古資料館事業概要について  
(2)平成11年度考古資料館事業について  
(3)その他
- 第2回 開催期日 3月19日 本館研修室  
会議内容 (1)平成10年度事業報告について  
(2)平成11年度事業計画について  
(3)その他

## 8. まほろば古の里歴史公園整備事業

### 1. はじめに

平成3年から高島町が整備を進めてきた「まほろば古（いにしえ）の里歴史公園」が完成し、昨年4月29日に開園した。また、同時に開館した創造の館、東側には安久津八幡神社と園内のさまざまな施設と一体となり、高島町の歴史や文化の情報発信の基地としての利用が行われるようになりました。

### 2. 公園整備の基本方針

整備のメインテーマを「学習体験から創造体験へ」とし反復的学習体験から創造的学習体験へと向かうきっかけをつかめる施設とソフトの充実を図ることとし、サブ・テーマとしては、「古代の生活・環境要素が各所に配置され、この中での体験を通して創造意欲を育てることのできる体験型公園」としている。基本方針としては、次の六つを挙げている。

- ① 歴史文化を理解する学習施設機能を持つ21世紀を目指すカルチャーパークとしての整備を行う。
- ② 山形県の歴史資料、町の歴史資料を広く紹介するための施設整備を図る。
- ③ 敷地特性を考慮した整備、地域の特性を生かした整備を行う。
- ④ 歴史公園の性格や環境造りを重視しつつ「遊び」「楽しみ」の要素を持つ空間に配慮を行う。
- ⑤ 古代というくくりの中で、生活や環境道具等の個々の要素を公園内の適所にバランス良く配置し、飽きずに楽しみながら体験できる整備を行う。
- ⑥ さまざまな利用者層に対応した、多様な機能を持つ空間として整備する。



歴史公園 開園式風景

### 3. ゾーニングと主要施設

公園は、創造体験活動ゾーン、古代生活体験ゾーン、古代学習ゾーン、修景散策ゾーンの四つにゾーニングされている。

#### ① 古代生活体験ゾーン

学習機能や創造体験、遊びの機能を持つ活動的なゾーンである。

創造の館（木造平屋建・建築面積 371㎡）は、ガス窯のある陶芸実習室、古代の料理づくりなどができる創造活動室を中心に陶芸体験、木工体験ができる施設である。通常の体験は、陶芸と木工であるが年間をとおして体験教室を開催している。

いにしへの窯は、耐火レンガ造りの穴窯で、薪を燃料として本格的な作陶ができる。当面は、町内の陶芸愛好者による陶芸同好会が中心となって運営される。

野焼き広場は、縄文土器や埴輪などの野焼きができる広場である。このゾーンでは、野焼き、穴窯、ガス窯の三種類の本格的な焼き物体験ができるようになっている。また、隣接している東屋には、野外卓、炊事炉を設置しているので芋煮会やバーベキューができる。遊具広場には、丸太を使った多種類の遊具をコース状に並べてあり親子で楽しめるようになっている。

#### ② 古代生活体験ゾーン

公園の北側には、棚田が残っており、この自然環境を生かした古代の生活体験するゾーンである。棚田には、古代米（黒米）を畑にはソバ、里芋、サツマイモ等を栽培している。昨年「古の里農楽校」として一般参加者が実際に農業を体験している。また、木の実の森や味噌根古墳を巡りながら散策もできる。

#### ③ 古代学習ゾーン

高島町の歴史の紹介・学習ゾーンがある。縄文竪穴式住居（復元）2棟は、本町和田地区の金谷遺跡の遺構から想像して復元されており、約4千年前の縄文時代中期の人々が生活していたもので、高さ3m、自然木に茅葺きで再現している。

安久津古墳は、本町の屋代川右岸の山間地に密集しており安久津古墳群として30数基の古墳がある。公園にあるのは、安久津古墳1・2号墳の2基で1基を石室にはいることができるよう復元している。

#### ④ 修景散策ゾーン

来園者に、四季を通じた花や景色を楽しめるゾーンとして整備している。万葉の花園・アヤマ園をはじめ修景池ではアヒルやガチョウを飼育している。

### 4. 利用の案内

[住 所] 山形県高島町大字安久津 2136

[敷地面積] 85,667㎡

[整 備] 平成3年～9年度

[総事業費] 10億3千万円

[管 理 者] 高島町教育委員会 文化課



木の実の森の植樹風景

## 9. 受贈資料・図書・書籍 (平成10年4月～平成11年2月)

### 館報・年報類

- |                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 広重美術館ニュースNo.3               | 広重美術館           |
| 2. 高島町文化財年報 Vol. 2             | 高島町教育委員会        |
| 3. 歴史館だより Vol. 5               | 最上義光歴史館         |
| 4. 茂吉記念館だより Vol. 1             | 斎藤茂吉記念館         |
| 5. 茂吉記念館年報 13号                 | 斎藤茂吉記念館         |
| 6. 山形県史編さんだより 第7号              | 山形県総務部総務課県史編さん  |
| 7. 年報 平成8年度                    | 山形県埋蔵文化財センター    |
| 8. 埋文やまがた 第10～11号              | 山形県埋蔵文化財センター    |
| 9. 山形県立博物館ニュース 第134～137号       | 山形県立博物館         |
| 10. 山形県立博物館報 平成10年度 -平成9年度実    | 山形県立博物館         |
| 11. 山形市 野草園だより 14～15号          | 山形市野草園          |
| 12. 山形大学附属博物館報 24              | 山形大学附属博物館       |
| 13. 芭蕉記念館だよりNo.7               | 山寺芭蕉記念館         |
| 14. 長井市古代の丘資料館館報 第4号           | 長井市古代の丘資料館      |
| 15. 浜田広介記念館 館報 1               | 浜田広介記念館         |
| 16. 平成8年度 米沢市立上杉博物館年報 Vol. 9   | 米沢市教育委員会        |
| 17. 米沢市文化財年報No.11              | 米沢市教育委員会        |
| 18. 松山町資料館報 8                  | 飽海郡松山町資料館       |
| 19. 農業博物館だより No.62             | 岩手県立農業博物館       |
| 20. 岩手県立博物館だより No.77～79        | 岩手県立博物館         |
| 21. 平成9年度 岩手県立博物館 年報           | 岩手県立博物館         |
| 22. 博物館だより No.66               | 群馬県立歴史博物館       |
| 23. 博物館だより No.87～89            | 斎藤報恩会自然史博物      |
| 24. 秋田県埋蔵文化財センター年報 16          | 秋田県埋蔵文化財センター    |
| 25. 秋田県立農業科学館 第2号              | 秋田県立農業科学館       |
| 26. 秋田県立博物館 博物館ニュース No.111～114 | 秋田県立博物館         |
| 27. 秋田県立博物館館報 平成9年度            | 秋田県立博物館         |
| 28. 青森県史だより第5号                 | 青森県県史編さん室       |
| 29. 青森県立郷土館だより 通巻104～108号      | 青森県立郷土館         |
| 30. 青森県立郷土館報 第25号 1998         | 青森県立郷土館         |
| 31. 仙台市博物館年報 第25号              | 仙台市博物館          |
| 32. 地底の森ミュージアム通信 6～8           | 仙台市富沢遺跡保存館      |
| 33. 平成9年度 地底の森ミュージアム年報 -第2号-   | 仙台市富沢遺跡保存館      |
| 34. 多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 平成8年     | 多賀城市埋蔵文化財調査センター |
| 35. 道路資料館だより Vol.13            | 東北地方建設局         |
| 36. 東北歴史資料館年報 平成9年度            | 東北歴史資料館         |
| 37. 東北歴史資料館報 第26号              | 東北歴史資料館         |
| 38. 東北歴史博物館建設準備ニュース 第1号        | 東北歴史資料館         |
| 39. 苫小牧市博物館だより No.39～41        | 苫小牧市博物館         |
| 40. 年報 平成8年度版                  | 苫小牧市博物館         |
| 41. とまこまい埋文だより No.44           | 苫小牧市埋蔵文化財調査センター |
| 42. 北海道開拓の村だより 第10号            | 北海道開拓の村         |
| 43. みやこどり 第1～3号                | すみだ郷土文化資料館      |
| 44. 玉里村立史料館報 Vol. 3            | 茨城県玉里村立史料館      |
| 45. 横浜市歴史博物館 年報 平成8年           | 横浜市歴史博物館        |
| 46. 横浜市歴史博物館 NEWS 7            | 横浜市歴史博物館        |
| 47. 歴博 第88～92号                 | 国立歴史民俗博物館       |
| 48. 江戸東京博物館 NEWS Vol.21～24     | 財)江戸東京歴史財団      |
| 49. 江戸東京たてもの園だより 第11～12号       | 財)東京都歴史文化財      |
| 50. 東総文化財センター年報 1              | 財)東総文化財センター     |
| 51. さきたま No.10                 | 埼玉県立さきたま資料館     |

52. 資料館報 No.29 1998  
53. 自然史百科 65～67  
54. 自然史百科 65～67  
55. まつどミュージアム No.6  
56. 松戸市博物館年報 第5号 平成9年度  
57. なりた No.69  
58. 文化財かわら版 第9号  
59. 房総の文化財 Vol.16  
60. 千葉県立房総風土記の丘年報 20 平成8年度  
61. 千葉市文化財調査協会年報 9～10  
62. 長野県立歴史館 年報 No.1  
63. 長野県立歴史館たより Vol.15～17  
64. 東京都埋蔵文化財センター年報 18  
65. 農業資料室展示案内 No.24  
66. 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第12号  
67. 栃木県文化振興事業団年報 平成10年度  
68. やまかいどう No.18～20  
69. 埋蔵文化財センター年報 第7号 平成9年度  
70. 栃木県立なす風土記の丘資料館年表 第6号  
71. あるむぜお No.45～46  
72. 岐阜県博物館だより 第65～67号  
73. 岐阜県博物館報 第21号  
74. 十日町市教育委員会 文化財課 年報 2  
75. NHK 長岡市立科学博物館報 No.73  
76. たてはく 第24～27号  
77. 年報 富山県立山博物館 1998年第7号  
78. 名古屋市見晴台考古資料館 年報 15  
79. リトルワールド No.65～68  
80. リトルワールド 年報 第20号 1997年度  
81. 滋賀埋文ニュース 第216～225号  
82. おおてみち 第23～26号  
83. 滋賀県立安土城考古博物館 平成8年度 年報  
84. 新・草津の歴史 第3号  
85. アスカディア・古墳の森 Vol. 8～9  
86. 大阪府立近つ飛鳥博物館 館報 3  
87. 兵庫 歴博ニュース No.62～65  
88. 紀伊風土記の丘年報 平成6年度 第22号  
89. 歴風 第20～22号  
90. 吉備路郷土館 No.21  
91. 下関市立考古博物館だより「あらやぎ」2号  
92. 下関市立考古博物館年報 3 - 平成9年度 -  
93. 年報 第19号  
94. ひろしまの遺跡 第73～75号  
95. 年報 13 平成8年度  
96. 八雲立つ風土記の丘 No.147～151  
97. 愛媛県歴史文化博物館だより 第13～16号  
98. 愛媛県歴史文化博物館年報 平成8年度  
99. 高知県立歴史民族資料館だより 第27～30号  
100. 高知県立歴史民俗資料館年報 No.7  
101. 宮崎県総合博物館年報 27号  
102. 九州歴史資料館年報 平成9年度  
103. 佐賀県立博物館・美術館 年報 No.27～28  
104. 佐賀県立博物館・美術館報 No.117～121  
105. 鹿児島大学埋蔵文化財調査年報 12  
106. USM No.46  
107. 宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報 1996
- 埼玉県立さきたま資料館  
埼玉県立自然史博物館  
埼玉県立自然史博物館  
松戸市立博物館  
松戸市立博物館  
成田山靈光館  
千葉県山武郡市文化財  
千葉県文化財センター  
千葉県立房総風土記の丘  
千葉県文化財調査協会  
長野県立歴史館  
長野県立歴史館  
東京都埋蔵文化財センター  
東京農業大学農業資料館  
栃木県教育委員会  
栃木県文化振興事業団  
栃木県文化振興事業団 埋蔵文化財センター  
栃木県文化振興事業団 埋蔵文化財センター  
栃木県立なす風土記の丘  
府中市郷土の森  
岐阜県博物館  
岐阜県博物館  
十日町市教育委員会  
長岡市立科学博物館  
富山県立博物館  
富山県立博物館  
名古屋市見晴台考古資料館  
野外民族博物館リトルワールド  
野外民族博物館リトルワールド  
滋賀県埋蔵文化財センター  
滋賀県立安土城考古博物館  
滋賀県立安土城考古博物館  
草津市教育委員会  
大阪府立 近つ飛鳥博物館  
大阪府立 近つ飛鳥博物館  
兵庫県立歴史博物館  
和歌山県立紀伊風土記の丘管理事務所  
みよし風土記の丘ミュージアム  
岡山県立吉備路郷土館  
下関市立考古博物館  
下関市立考古博物館  
広島県立みよし風土記の丘  
財)広島県埋蔵文化財調査センター  
財)広島県埋蔵文化財調査センター  
島根県八雲立つ風土記の丘  
愛媛県歴史文化博物館  
愛媛県歴史文化博物館  
高知県立歴史民俗資料館  
高知県立歴史民俗資料館  
宮崎県総合博物館  
九州歴史資料館  
佐賀県立博物館・美術館  
佐賀県立博物館・美術館  
鹿児島大学埋蔵文化財調査室  
大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館  
大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館

108. おおいた歴博 No.1～2
109. 別府大学附属 博物館だより No.41
110. 海のはくぶつかん Vol.28 No.2～6
111. 明治大学博物館 年報 1997年度

大分県立歴史博物館  
別府大学附属博物館  
東海大学海洋科学博物  
明治大学博物館

#### 報告書類

- |                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 高島町埋文調査報告書 第7集 金谷B遺跡          | 高島町教育委員会        |
| 2. 寒河江市文化財調査報告書第18集 柴橋蛇塚遺跡       | 寒河江市教育委員会       |
| 3. 山形県中世城館遺跡調査報告書 第2～3集          | 山形県教育委員会        |
| 4. 山形県埋文調査報告第198～199集            | 山形県教育委員会        |
| 5. 史跡城輪柵跡 他                      | 酒田市教育委員会        |
| 6. 市内遺跡発掘調査報告書(6) 報告書 第15集       | 長井市教育委員会        |
| 7. 鶴岡市埋文調査報告書第8集 市内遺跡分布調査        | 鶴岡市教育委員会        |
| 8. 高野坊遺跡確認調査報告書 第12集 他           | 天童市教育委員会        |
| 9. 米沢市 第61集 遺跡詳細分布調査報告書 第11      | 米沢市教育委員会        |
| 10. 米沢市埋文調査報告書 第56～61集           | 米沢市教育委員会        |
| 11. 滝沢村文化財調査報告書台19集 湯船沢Ⅱ遺跡       | 岩手県滝沢村教育委員会     |
| 12. 秋田県文化財調査報告書第273～275 277～280集 | 秋田県教育委員会        |
| 13. 熊沢遺跡発掘調査概報 第42集 他            | 青森市教育委員会        |
| 14. 多賀城市文化財調査報告書第47～52集          | 多賀城市教育委員会       |
| 15. 旧石器時代遺跡の分布調査報告書 他            | 東北歴史資料館         |
| 16. 柏原27・ニナルカ・静川5・6遺跡            | 苫小牧市教育委員会       |
| 17. 十勝太海岸段丘遺跡                    | 北海道浦幌町教育委員会     |
| 18. 陸前高田市文化財調査報告書第17～19集         | 陸前高田市教育委員会      |
| 19. 印旛郡市発掘調査報告書 第122集 他          | 印旛郡市文化財センター     |
| 20. 組之木原遺跡 他                     | 群馬県勢多郡富士見村遺跡調査会 |
| 21. 山武郡市調査報告第30 38 40 47～50集     | 財)山武郡市文化財センター   |
| 22. 三鷹市埋蔵文化財整備報告書第1集 出山横穴墳       | 三鷹市教育委員会        |
| 23. 松原遺跡 他                       | 千葉県富里町教育委員会     |
| 24. 千葉県重要古墳群測量調査報告書              | 千葉県立房総風土記の丘     |
| 25. 園生貝塚 他                       | 千葉市文化財調査協会      |
| 26. 埼玉県朝霞市 泉水山・下ノ原遺跡             | 朝霞市泉水山・下ノ原遺跡調査会 |
| 27. 多摩ニュータウン遺跡 報告書 他             | 東京都埋蔵文化財センター    |
| 28. 栃木県埋蔵文化財調査報告書 第118集 他        | 栃木県教育委員会        |
| 29. 姥久保遺跡Ⅰ                       | 日野新町一丁目住宅遺跡調査会  |
| 30. 十日町埋文調査報告書第10～14集            | 十日町市教育委員会       |
| 31. 水垂遺跡 長岡京左京六・七条三坊             | 財)京都市埋蔵文化財研究所   |
| 32. 屋中寺廃寺遺跡 他                    | 滋賀県教育委員会        |
| 33. 草津市文化財調査報告書32 草津川改修関連遺跡      | 草津市教育委員会        |
| 34. 東福寺遺跡                        | 佐賀県教育委員会        |
| 35. 太宰府史跡                        | 九州歴史資料館         |

#### 調査説明資料

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| 1. 汐留遺跡－旧汐留貨物駅跡地内遺跡発掘調査概要  | 東京都埋蔵文化財センター |
| 2. 尾張藩上屋敷跡遺跡発掘調査概要Ⅵ        | 東京都埋蔵文化財センター |
| 3. 山形市 城南一丁目遺跡 調査説明資料      | 山形県埋蔵文化財センター |
| 4. 山形市 オサヤズ窯跡 第2次調査説明資料    | 山形県埋蔵文化財センター |
| 5. 天童市 板橋2遺跡 第2次調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |
| 6. 天童市 的場遺跡 第2次調査説明資料      | 山形県埋蔵文化財センター |
| 7. 東根市 小田島城跡 第2次調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |
| 8. 河北町 四ツ塚遺跡 調査説明資料        | 山形県埋蔵文化財センター |
| 9. 高島町 渋作遺跡 調査説明資料         | 高島町教育委員会     |
| 10. 京都市埋蔵文化財調査概要平成8年度      | 京都市埋蔵文化財研究所  |
| 11. 玉里村 権現山古墳 発掘調査概報       | 玉里村教育委員会     |
| 12. 江戸駿河台の旗本屋敷跡 明治大学記念館前遺跡 | 明治大学         |
| 13. 山形市 萩原遺跡 第2次調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |

- |                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| 14. 天童市 板橋1遺跡 第2次調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |
| 15. 山形市 百目鬼遺跡 第2次調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |
| 16. 寒河江市 高瀬山遺跡 HO 第3次調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 17. 米沢市 米沢城跡東二の丸 調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |
| 18. 天童市 板橋2遺跡 第3次調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |
| 19. 川西町 太夫小屋1遺跡 調査説明資料      | 山形県埋蔵文化財センター |
| 20. 天童市 藏増押切遺跡 第2次調査説明資料    | 山形県埋蔵文化財センター |
| 21. 天童市 砂子田遺跡 第2次調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |
| 22. 天童市 中袋遺跡 第2次調査説明資料      | 山形県埋蔵文化財センター |
| 23. 山形市 樋渡遺跡 第2次調査説明資料      | 山形県埋蔵文化財センター |
| 24. 山形市 谷柏J遺跡 第2次調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |
| 25. 米沢市 大樽遺跡 調査説明資料         | 山形県埋蔵文化財センター |
| 26. 山形市 志戸田遺跡 第2次調査説明資料     | 山形県埋蔵文化財センター |
| 27. 藤島町 藤島D遺跡調査説明資料         | 山形県埋蔵文化財センター |

### 紀要等

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 海牛化石調査報告書             | 山形県立博物館             |
| 2. 山形県立博物館研究報告 第19号      | 山形県立博物館             |
| 3. 考古学からみた原始・古代の医療       | 天童・東村山郡医師会          |
| 4. 一関市博物館研究報告 第1号        | 一関市博物館              |
| 5. 紀要 XVIII              | 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター |
| 6. 秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第13号 | 秋田県埋蔵文化財センター        |
| 7. 秋田県立博物館研究報告 第23号      | 秋田県立博物館             |
| 8. 仙台市博物館調査研究報告 第18号     | 仙台市博物館              |
| 9. 市民文化財研究員活動報告書2        | 仙台市富沢遺跡保存館          |
| 10. 仙台市富沢遺跡保存館研究報告1      | 仙台市富沢遺跡保存館          |
| 11. 第12回東北日本の旧石器文化を語る会   | 東北日本の旧石器文化を語る会      |
| 12. 研究紀要 第23巻            | 東北歴史資料館             |
| 13. 研究報告 第8号             | 苫小牧市博物館             |
| 14. 群馬県立歴史博物館紀要 第19号     | 群馬県立歴史博物館           |
| 15. 松戸市立博物館紀要 第5号        | 松戸市立博物館             |
| 16. 貝塚博物館紀要 第25号         | 千葉県立加曾利貝塚博物館        |
| 17. MUSEUM No.551～556    | 東京国立博物館             |
| 18. 東京都江戸東京博物館研究報告       | 東京都江戸東京博物館          |
| 19. 研究紀要 第6号             | 栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター |
| 20. 明治大学博物館研究報告 第3号      | 明治大学博物館事務室          |
| 21. 國學院大學 博物館學紀要 第22輯    | 國學院大學博物館研究室         |
| 22. 研究紀要 1998.3 Vol. 5   | 富山県立博物館             |
| 23. 岐阜県博物館調査研究報告第19号     | 岐阜県博物館              |
| 24. 長野県立歴史館研究紀要 第4号      | 長野権利留歴史館            |
| 25. リトルワールド研究報告          | 野外民族博物館リトルワールド      |
| 26. 研究紀要 第4号             | (財)京都市埋蔵文化財研究所      |
| 27. 紀要一開館5周年記念号一 第6号     | 滋賀県立安土城考古博物館        |
| 28. 研究輯録VIII             | (財)広島県立埋蔵文化財調査センター  |
| 29. 研究紀要 第2号             | 下関市立考古博物館           |
| 30. 愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第3号   | 愛媛県歴史文化博物館          |
| 31. 研究紀要 第7～8号           | 高知県立歴史民俗資料館         |
| 32. 調査研究所 第19～21集        | 佐賀県立博物館・美術館         |

### 図録等

- |                  |         |
|------------------|---------|
| 1. 西ノ前遺跡の縄文ヴィーナス | 山形県立博物館 |
| 2. 藩校            | 山形県立博物館 |
| 3. 文人の神仏・妖怪展     | 山寺芭蕉記念館 |
| 4. アマゾン民族館       | 鶴岡市     |
| 5. 田村家文書の世界 I    | 一関市博物館  |
| 6. 田村氏三万石の精華     | 一関市博物館  |

- |                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| 7. アクセサリーの考古学                | 地底の森ミュージアム      |
| 8. 霞ヶ浦沿岸の弥生文化                | 霞ヶ浦町郷土資料館       |
| 9. 遺跡発掘速報展 部室貝塚              | 玉里村立史料館         |
| 10. 貝塚人の暮らす海                 | 玉里村立史料館         |
| 11. お金の玉手箱—銭貨の列島 2000 年史—    | 国立歴史民俗博物館       |
| 12. 幻の中世都市十三湊 海から見た北の中世      | 国立歴史民俗博物館       |
| 13. 古代の碑—石に刻まれたメッセージ—        | 国立歴史民俗博物館       |
| 14. 時代を語る「染」と「織」—墨書のある近世の染   | 国立歴史民俗博物館       |
| 15. 失われゆく番匠の道具と儀式            | 国立歴史民俗博物館       |
| 16. 収集家 100 年の軌跡 水木コレクションのすべ | 国立歴史民俗博物館       |
| 17. 動物とのつきあい—食用から愛玩まで—       | 国立歴史民俗博物館       |
| 18. 布のちから・布のわざ               | 国立歴史民俗博物館       |
| 19. 陶磁器の文化史                  | 財団法人 歴史民俗博物館振興会 |
| 20. 水戸道中 宿場と旅人               | 松戸市立博物館         |
| 21. 福神の世界                    | 松戸市立博物館         |
| 22. 埴輪の世界                    | 千葉県立房総風土記の丘     |
| 23. 倭国乱る                     | 朝日新聞社           |
| 24. 特別展 日本の考古学               | 東京国立博物館         |
| 25. 器財はにわの世界                 | 栃木県しもつけ風土記の丘資料館 |
| 26. ムラ・まつり・古墳                | 栃木県立なす風土記の丘資料館  |
| 27. 銅鐸の美                     | 毎日新聞社           |
| 28. 古代シナノの武器と馬具              | 長野県立歴史館         |
| 29. 諏訪信仰の祭りと文化               | 長野県立歴史館         |
| 30. 発掘された名古屋の五世紀             | 名古屋市見晴台考古資料館    |
| 31. いにしへの金工たち                | 元興寺文化財研究所       |
| 32. 纏向遺跡 100 回調査記念           | 桜井市立埋蔵文化財センター   |
| 33. かつて湖のほとりで                | 滋賀県立安土城考古博物館    |
| 34. ムラの変貌—稲作と弥生文化—           | 滋賀県立安土城考古博物館    |
| 35. 鹿深—甲賀郡の歴史と文化—            | 滋賀県立安土城考古博物館    |
| 36. 琵琶湖と中世の人々—信長以前・信長以後—     | 滋賀県立安土城考古博物館    |
| 37. 大陸文化へのまなざし               | 大阪市立博物館         |
| 38. 大化の簿葬令                   | 大阪府立近つ飛鳥博物館     |
| 39. 平成 10 年度 春季特別展 近つ飛鳥工房    | 大阪府立近つ飛鳥博物館     |
| 40. こふんなぜなにブック こども展示図録       | 府立近つ飛鳥博物館       |
| 41. 下関の弥生文化                  | 下関市立考古博物館       |
| 42. ひろしまの古代寺院寺町廃寺と水切り瓦       | 広島県立歴史民俗資料館     |
| 43. 道具と木のはなし                 | 広島県立歴史民俗資料館     |
| 44. 青銅器の世界 神庭荒神谷と加茂岩倉        | 島根県立八雲立つ風土記の丘   |
| 45. 純友と将軍—東西の兵乱—             | 愛媛県歴史文化博物館      |

#### 書籍等

- |                          |             |
|--------------------------|-------------|
| 1. かながわ風土記 第 249 ~ 259 号 | 財扶桑伝統文化振興財団 |
| 2. やまがたを歩こう!             | 県文化環境部      |
| 3. 羽陽文化 第 142 号          | 山形県文化財保護協会  |
| 4. 出羽文化 創刊号              | 出羽文化ネットワーク  |
| 5. 大いなる夢の遺跡              | 胆江日日新聞社     |
| 6. 発掘された日本列島 96          | 朝日新聞社       |
| 7. 発掘された日本列島 97          | 朝日新聞社       |
| 8. 南陽市史編集資料 第 27 号       | 南陽市教育委員会    |
| 9. 天童市の文化財               | 天童市教育委員会    |

## 10. 日 誌 抄

- 4 / 1 辞令交付式  
4 / 10 歴史公園管理組合総会  
4 / 19 うきたむ考古の会役員会  
4 / 29 歴史公園開園式 まほろばの緑道桜まつり 風土記の丘写生大会  
5 / 5 子どもの日無料開館日 入館者 662名  
5 / 9 土偶づくり教室 12名参加  
5 / 17 春の遺跡めぐり 上山方面 23名参加  
6 / 14 土器づくり教室 24名参加  
6 / 21 考古学入門講座 第1回「中世奥羽の世界」 伊藤 清郎氏 45名  
うきたむ考古の会総会 14名  
6 / 27・28 うきたむ考古の会研修旅行 会津若松・奥会津方面 30名  
7 / 12 考古学入門講座 第2回「東北の中世土器・陶磁器」 飯村 均氏  
7 / 26 考古学入門講座 第3回「中世の墓と経塚」 山口 博之氏  
8 / 2 骨角器づくり教室 10名  
8 / 8 祭り具づくり教室  
8 / 9 考古学入門講座 第4回「中世の石造文化財」 川崎 利夫氏 28名  
8 / 23 考古学入門講座 第5回「山形県の城館跡」 誉田 慶信氏 30名  
8 / 28 本館運営協議会  
9 / 6 うきたむ縄文まつり  
9 / 10・11 全国風土記の丘研究協議会 成田市 房総風土記の丘  
9 / 17・18 東北博物館協議会 南陽市  
10 / 1 第7回企画展「やまがたの弥生文化ー水田稲作の始まりー」開展  
10 / 4 特別講演会「東北の弥生文化」 東北大学教授 須藤 隆氏 47名  
10 / 18 秋の遺跡めぐり 飯豊・小国方面 20名  
10 / 24 中世陶磁器研究会 22名  
11 / 14 曲玉づくり教室 16名  
11 / 29 第7回企画展終了  
2 / 21 編み布づくり教室 6名  
3 / 19 本館運営協議会

## 11. 利用案内

- ◆ 交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分  
JR高島駅より自転車で40分  
※高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります。
  - ◆ 開館時間 4月1日～10月31日／AM9：00～PM4：30  
11月1日～3月31日／AM9：30～PM4：30
  - ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日  
(こどもの日と文化の日は、無料で開館します。)  
年末年始(12月28日～1月4日まで)  
4月29日、5月3～5日は開館しております。
  - ◆ 入館料金 一般200円(150円)、児童等100円(70円)  
( )は、20名以上の団体料金  
※毎月第2第4土曜日は、小・中・高校の入館は無料です。
  - ◆ 入館料の減免 次ぎの基準により減免(無料入館)します。
    1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する。
    2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、各号の一つに該当する者とする。
      - (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
      - (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者
- ※上記2の入館料の減免を受けようとする方は、入館減免申請書(別記様式)を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館に問い合わせください。

高島町教育委員会教育長 殿

申請者 住所

氏名

⑩

【電話 ( ) 】

## 入館料減免申請書

下記により山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館の入館料を減額（免除）  
くださるよう申請します。

記

入館日時	平成 年 月 日 時頃
入館人員	一般 人 児童等 人 計 人
代表者職氏名	職 氏名
入館の目的	
減免を必要とする理由	
備考	

- (注) 1 提出部数 1部  
 2 提出先 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館  
 3 提出期限 入館日の10日前  
 4 規格 A4  
 5 留意事項 申請者は学校にあっては学校長  
 入館人員には付添人数も記入すること

## '98／年報

平成11年（1999年） 3月31日 印刷

平成11年（1999年） 3月31日 発行

編集発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高畠町安久津2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238(52)2585

FAX 0238(52)4665

印刷 カトヤ印刷

